

製作 松竹

平成二十三年  
六月新派公演  
三越劇場提携

有吉佐和子 作  
成瀬芳一 演出

# ふるあめりに 袖はぬらさじ



イルウス  
田中 健



岩亀楼主人  
前田 吟



マリア  
英 太郎



お園  
水谷八重子



藤 吉  
丹羽貞仁



亀 遊  
瀬戸摩純



伊藤みどり



井上恭太



田口 守



立松昭三



山 佐堂克実



柳田 豊

平成23年  
6月4日(土)初日▶25日(土)

4月30日(土)10:00より電話・Web受付開始

●チケットホン松竹 0570-000-489 (ナビダイヤル)  
(10:00~18:00) または、03-6745-0333

●チケットWeb松竹 (パソコン・携帯電話より24時間受付) チケットWeb松竹 検索  
前売初日は10:00から

●三越劇場は5月1日(日)より前売開始 (10:00~19:00)  
0120-03-9354 三越劇場チケットショップ www.mitsukoshi.co.jp/t

御観劇料(税込) 8,000円 全席指定 劇団新派公式サイト www.shochiku.co.jp/shinpa

6月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
午前11:00	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
午後3:00	★	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

★4日、10日、19日は、終演後、水谷八重子によるアフタートークを行います。  
(トークテーマ 4日：杉村春子先生を慕って 10日：山田五十鈴先生を慕って 19日：母を慕って)



MITSUKOSHI  
三越劇場 〒103-8001 東京都中央区日本橋室町1-4-1  
日本橋三越本店 本館6階

平成二十三年六月新派公演 三越劇場提携

有吉佐和子 作  
成瀬芳一 演出

# ふるあめりかだ 袖はぬらさじ

6月4日(土)初日 ↓ 25日(土)



製作 松竹

初夏を彩る平成二十三年六月の三越劇場新派公演は、有吉佐和子の名作『ふるあめりかに袖はぬらさじ』をご覧頂きます。

横浜の遊郭を舞台に、そこに生きる人々が開国という時代の変化に呑み込まれていく姿を描きながら、マスコミの情報過多が却って混乱を招いてしまう現代と重なる部分もあり、娯楽性の中に現代社会へのメッセージを含んだ良質の作品です。

昭和四十七年に名女優・杉村春子に書き下ろされて以来、度々上演されておりますが、今回は主役のお園を三度目の水谷八重子が勤めるのを始め、英太郎、瀬戸摩純といった新派俳優、前田吟、田中健、丹羽貞仁といった豪華なゲストが揃いました。

新劇から生まれた演劇界屈指の名作にご期待下さい。

## あらすじ

徳川幕府が長い鎖国を解いてから二年後の文久元年冬、異国人たちで賑わう横浜の遊廓街の中でも一際繁盛している「岩亀楼」。吉原流れの芸者お園(水谷八重子)は大の酒好きでだらしない所がある反面、三味線の名手で気風のよい名物女であった。

ある日お園は、楼内の行燈部屋で病床に臥している花魁の亀遊(瀬戸摩純)を見舞った時、お抱えの通辞・藤吉(丹羽貞仁)との仲を知った。遊廓で働く通辞は遊女とは決してはいけないという掟があるものの、将来米国に渡り、医者になる志を持つ藤吉の人柄とその看病で快方に向かっている亀遊の様子を見るにつけ、二人を庇ってやろうと決心した。

三カ月後、回復した亀遊が客の前に出た時に悲劇は起こった。米国人イルウス(田中健)が、日本人(日本人相手の遊女)“の亀遊を見染め、身請けしたいと言いつ出したのだ。何とか止めようと藤吉とお園は、唐人口(外国人相手の遊女)“のマリア(英太郎)などを紹介するが、イルウスは聞き入れない。さらには、金に目が眩んだ「岩亀楼」の主人(前田吟)が亀遊の身請けを承知してしまう。それを知った亀遊は絶望のあまり自ら命を絶ってしまった。

亀遊の死から七十五日目、『亀遊は異国人に体を汚されまいと見事に最期を遂げた攘夷女郎』と祭り上げる瓦版が大評判となり…

美術	織田正留
照明	中嶋隆志
邦楽	北内政太郎
効果	今藤喜三
舞台監督	堅田大介
制作助手	古山昌克
制作	竹田原亜紀
同作	大久保幸博
同松本	田村景久
同本	由紀子



劇団新派公式サイト <http://www.shochiku.co.jp/shinpa>

4月30日(土)10:00より電話・Web受付開始

●チケットホン松竹 (10:00~18:00) ※電話番号のおかけ間違いにご注意下さい  
0570-000-489 (ナビダイヤル)  
または(東京)03-6745-0333  
※窓口販売・切符のお引取りは5月2日(月)より。窓口販売用別枠でのお取置きはございません。当日券はご予約いただけません。

三越劇場は5月1日(日)より前売開始  
0120-03-9354 (10:00~19:00)  
御観劇料 (税込) 8,000円全席指定

●チケットWeb松竹 検索 03-3545-2200 (10:00~18:00)

チケットWeb松竹のお問合せは 03-3545-2200 (10:00~18:00)

【お願い】お買い上げになりましたチケットは、開行中止をのぞいて、ご変更やお取消しはいたしておりません。また、販売目的でのチケットの購入は固くお断りしております。

- チケットぴあ 0570-02-9999 [PCコード:409-349] pia.jp/t
- ローソンチケット 0570-084-003 [PCコード:34740] l-tike.com/
- CNプレイガイド 0570-08-9999 cncn.jp/
- イープラス eplus.jp/

6月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
午前の部 11:00	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
午後の部 3:00	★	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

★4日、10日、19日は、終演後、水谷八重子によるアフタートークを行います。★4日のみ午後0:00開演 (トークテーマ 4日:杉村春子先生を慕って 10日:山田五十鈴先生を慕って 19日:母を慕って)